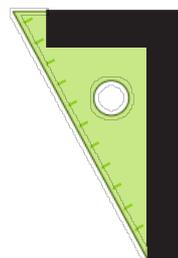


あだち 教育 だより⑦

発行日 平成 30 年 7 月 12 日
発行 足立区教育委員会
編集 学校支援課

No.



「来年からは僕も小学生♪」と胸を膨らませる一方で、「小学校ってどんなことするのか」「友達はできるかな」など、入学への不安を感じているお子様も多いのではないのでしょうか。

足立区では、園児が、給食、授業、学校探検など、さまざまな体験活動を行うことで、不安を解消し、スムーズに学校生活へ移行できるよう取り組んでいます。

また、園と小学校の職員同士も積極的に交流し、子どもの成長・発達や指導方法などを確認し合い、継続した学びへとつなげています。

な来
り年、
ります、
ます！
1年生に

あだちの幼・保・小連携活動

特集

*のぞいてみよう！園と小学校の交流活動

*学力向上の強力な味方



のぞいてみよう！園と小学校の交流活動

「基本的な生活習慣が身についていない」「他者とのかかわりが苦手」「座って話を聞くことができない」などを原因とする、「小1プロブレム(※)」をご存知ですか？

足立区では、小学校と幼稚園・保育園などが連携して、その課題解決に取り組んだ結果、平成30年4月の「小学校第1学年に関するアンケート」では、授業中立ち歩かない児童の割合は96.8%と、多くの園児がよりスムーズに小学校生活へ移行できていることが分かりました。

幼・保・小連携の交流範囲は着実に広がり、今年度は区内192園の園児と全小学校69校の児童が、入学への不安解消や相互の成長のために交流を行っています。

※小1プロブレム
小学校1年生の教室において、学習に集中できない、教員の話が聞けず授業が成立しないなど学級がうまく機能しない状況となること。

交流例 1 中央本町保育園・やよい保育園・弥生小学校の連携活動 ぼくの名前を書いて小学生と名刺交換するぞ！

小学校入学時、鉛筆を正しく持つことができない児童の割合は、27.2%。ノートに板書を書き写すことができないなど、スムーズに学習を進められない状況が見られます。そのため、小学校1年生が園児に鉛筆の持ち方や名前の書き方を教え、名刺を作って、交換することで、正しい持ち方が身につくよう工夫しています。



お兄さん、お姉さん
優しいな



鉛筆を正しく持てる
ようになったら、た
くさん書いても手が
疲れなくなったよ！

中央本町保育園

小学校入学前からはじめています！ めざせ！鉛筆名人！

中央本町保育園では、正しい鉛筆の持ち方を遊びながら身につける取り組みを行っています。

おもりのついたひもを鉛筆につけて、親指と人差し指と中指で“くるくるくるくる”。自然と正しい鉛筆の持ち方が身につきます。



交流例 2 いりや第二保育園と足立入谷小学校の連携活動

絵本の世界に連れて行って！

小学生が園児に絵本の読み聞かせをしています。交流を通して、園児は小学校の様子に触れることができ、入学への期待が高まります。一方で小学生に、「話が分かるようにゆっくり読んであげよう」など、年少者を思いやる心が育まれます。



こんな風に読めるよう
になりたいなあ〜!!



夏休みから家庭で実践！

小学校入学前に取り組んで欲しい3つのポイント！ (※)

1 早寝・早起き・朝ごはん

寝不足や朝食を抜いた状態では、学校の授業に集中できません。朝7時には起きて、夜9時までの就寝を定着させましょう。



ごはんを食べた後は、
必ず歯みがきするよ！

2 体験させること

さまざまな体験を通して、子どもの感性、社会性、集中力などが育まれ、学校での学習意欲、自信につながります。

区では夏休みに子どもたちが参加できるさまざまなイベントを用意し、学びを応援しています。6ページに紹介していますので、ぜひご覧ください。

3 受け入れること (話を聞く、ほめる)

小学校に入学すると、たくさんの友達と関わる機会が多くなります。「話を最後まで聞いてもらえた」「たくさんほめてもらえた」など、保護者に受け入れられているという安心感が、自分と違う友達の考え方を受け入れることにつながります。

※「5さいのとき 家庭でやっておきたい10の大切なこと」から、一部抜粋。区ホームページで公開中。リーフレットは、就学前教育推進課(足立区役所南館5階)で配布しています。

あだち5歳児プログラム 家庭版

検索



そだち指導員 (※1)
1対1の僕だけの先生

小学校3・4年生を対象に、週1時間、合計12回の予定で、国語や算数の個別指導を行います。児童自身の体験を大切に、自ら考えさせながら、つまずきやすい箇所を丁寧に教えます。



自作した教具やイラストを教室中に置いたり、貼ったりしています。

自作の教具を用いることで、視覚化して理解を深められるように指導しています。また、ゲーム感覚で反復練習を行い、知識の定着を図っています。個別指導を経て、子どもたちが自信をつけ、クラスで積極的に発言をするようになったと聞いたときは嬉しく、やりがいを感じました。ご家庭でお子さんが質問してきたときこそチャンス。丁寧に向き合ってください。

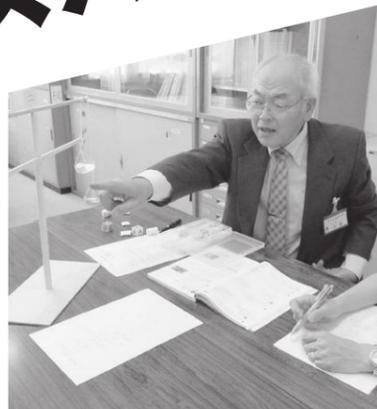
「鹿浜五色桜小学校そだち指導員」
かわしま 川島 みつよ 指導員



教科指導専門員 (※2)
教員を導くエキスパート

全小・中学校へ巡回し、国語、算数・数学、英語の指導を行います。

教員へアドバイスをしたり、相談に乗ったりしながら、より良い授業づくりをめざします。



学校は、自己実現の機会を作っておける場所だと思います。教員は子どもたちに、ただ、正解を教えるのではなく、問題を解くためのプロセスを考えるように指導することが大事です。わくわく感があって、生徒が体験しながら「できた」「分かった」と学べるようにしたいですね。

「教科指導専門員」
おおしま 大嶋 鉄男 専門員

休み時間に授業のアドバイスをさせていただき、自信を持って、教えることができました。



竹の塚中学校
みづの 水上 衣美 先生(左)
さとう 佐藤 大樹 先生(右)

教員の授業力向上に日々尽力する教科指導専門員

学力向上の強力な味方

学習支援員 (※3)
みんなのサポート役

小学校の教員のサポート役として、授業や補習に入り、児童が授業に集中できるように学習支援をします。

また、プリントの印刷や配付のお手伝いなど、さまざまな形で各学校の運営サポートもしています。



中島根小学校 小出紀幸先生(左)、玉川真純支援員(右)と第1算数学習室で学ぶ3年生の子どもたち



児童が授業への集中を切らさないように、子どもの目線に合わせて、膝をつき、声かけをしています。分かりやすい言葉に言い換えて、理解を深めるような手助けを心がけています。児童が問題を解けたとき、たくさんほめて、一緒に喜んでいきます。「分かった〜」と嬉しそうな笑顔を見ると頑張れます！

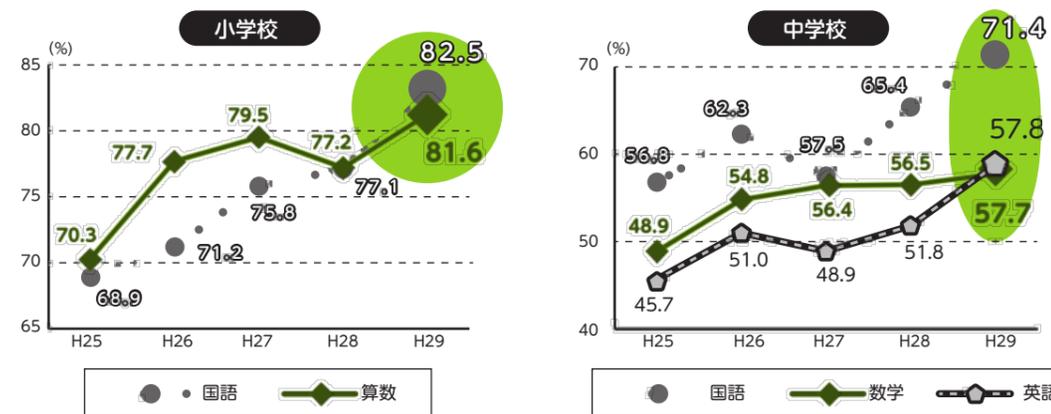
「中島根小学校学習支援員」
たまがわ たまがわ 玉川 真純 支援員

足立区には、子どもたちの学力向上のために、先生たちと協力して活動しているたくさんの強い味方がいます。その「人」たちにスポットを当てて、子どもたちを日々支えている現場を紹介します。

あだちの子どもたちの学力が伸びています！

児童・生徒や現場のさまざまな先生の努力が実を結び、小学校2教科(国語、算数)と中学校3教科(国語、数学、英語)の通過率(※)が向上し、過去5年間で最も高い数値となりました。

※通過率…目標値以上の正答があった児童・生徒の割合(目標値以上の児童・生徒数÷受験者数×100%)



「平成29年度足立区基礎学力定着に関する総合調査」より

information

そだち指導員 / 教科指導専門員 学力定着推進課 学力定着推進係 ☎ 3880-6717
学習支援員 教育指導課 教育指導係 ☎ 3880-5974

information

教育委員会で採用する非常勤職員で、主に以下のような方が活躍しています。

- ※1 そだち指導員…… 小学校全科の教員免許を有し、学校での勤務経験がある方
- ※2 教科指導専門員…… 小学校全科・中学校の国・数・英のいずれかの教員免許を有し、学校で校長、副校長などの経験がある、または教育委員会で教員への指導の経験がある方
- ※3 学習支援員…… 小学校等の教員免許を有する方/学習指導に携わった経験がある方

夏休み本番!!! おでかけサマー

待ちに待った夏休み！積極的に「体験活動」に参加しましょう！
夏は子どもたちの成長に絶好の機会！

江戸時代の切り絵あそび体験！?

in 郷土博物館

日時▶ 8/11(土)～8/17(金)
午前10時～正午、午後1時～午後3時
費用▶ 無料
対象▶ 小・中学生
定員▶ 無
申込▶ 不要 ※当日直接会場へ
問先▶ 郷土博物館 ☎3620-9393



気軽にどうぞ☆ 読み聞かせ! など

in エル・ソフィア

日時▶ 7/26(木) 8/9(木)、8/23(木)
午前9時半～正午 (原則、毎月、第2・4木曜日に実施)
費用▶ 無料
対象▶ 就学前のお子様と保護者
定員▶ 無
申込▶ 不要 ※当日直接会場へ
問先▶ 男女参画プラザ ☎3880-5222



海の生きものタッチプール!

in 生物園

日時▶ 7/21(土)～9/2(日)
午前10時半～正午、午後1時半～午後3時
費用▶ 就学前のお子様：無料
小・中学生：150円
対象▶ どなたでも (就学前のお子様は保護者同伴)
定員▶ 無
申込▶ 不要 ※当日直接会場へ
問先▶ 生物園 ☎3884-5577



わくわく♥ 手遊びタイム! など

in ①ギャラクシティ地下2階 ②関原の森 愛恵まちづくり記念館

日時▶ ① 7/15(日)、7/30(月)、8/20(月) 午前10時～正午
② 7/24(火)、8/21(火)、8/28(火) 午前10時～正午
費用▶ 無料
対象▶ 就学前のお子様とその保護者
定員▶ 先着各10組(各月の1日より募集開始)
申・問先▶ 青少年課家庭教育係 ☎3880-5273



教育長コラム

なぜ勉強するの？

小学生だった私の答えは、「母の喜ぶ顔が見たいから」でした。気が付くと、満点でないテストを家に持ち帰ることができなくなり、教室の机の中のテストを見つけた同級生から「点取むし～」といじめられたこともありました。

なぜ、テストがあるの？

その時、担任の先生がこう話してくださいました。「テストは自分のできないところを見つけるためにあるんだ。満点だったら、どこができないのか、分からないだろう？満点を取って、そこで勉強をやめてしまったら、テストに出ない問題が解けないかもしれない。解けなくても、間違えても、恥じることはない。恥ずべきは勉強をやめてしまうことだ。」

120点ならうれしい

その夜、私は満点でないテストを家に持ち帰りました。母は悲しい顔をすのぼるだろうか？怒られやしないか？心配

する私に、母は笑いながら言いました。「50点でも60点でもいい。あなたの120点ならうれしいわ。」しかし、120点なんて取れるはずがありません。母の言葉の意味が理解できたのは、勉強が難しくなって、満点が取れなくなったころでした。50点を60点に、60点を70点にするために、精一杯、努力しよう。そうやって取った60点、70点が「私の120点」。努力を続けることが勉強なんだ。

なぜ、勉強するの？

今の私の答えは、「自分の成長を実感できるから」です。なぜ、小中学校には12も13も教科があるの？それは、自分の成長の種がどこにあるのか、見つけてほしいからです。なぜ、小学校では担任の先生が全教科を教えるの？それは、教科の専門性より、先生と一緒に努力を続けることの大切さを学んでほしいからなのです。



足立区教育委員会 教育長 定野 司
-任期- 2018年4月1日～2021年3月31日
-略歴-
●足立区環境部長
●足立区総務部長
●2015年4月から現職

教育委員会の活動

動き (平成30年3月から平成30年6月)
教育委員会には定例会4回、臨時会2回の開催を通じて18件の議案が付議され、審議の結果すべて可決されました。
《主な議案》
* 足立区青少年問題協議会条例の一部を改正する条例の送付について
* 足立区における保育の利用等に関する条例の一部を改正する条例の送付について
* 足立区特定教育・保育施設、特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の送付について
会議の傍聴
会議は傍聴することができます。希望される方はお問合わせください。

教育委員の主な活動

平成30年
3月 区立小・中学校卒業式出席
4月 教育委員協議会 東京都教育施策連絡協議会出席 臨時校長会出席
5月 教育委員協議会
6月 教育委員協議会

自転車盗難の被害者は

19歳以下が約25%

子どもたちの自転車を守るために...

ほんのちょっとの時間でも 自宅敷地内でも

「自転車とめたら、絶対カギかけ！」

を徹底してください。

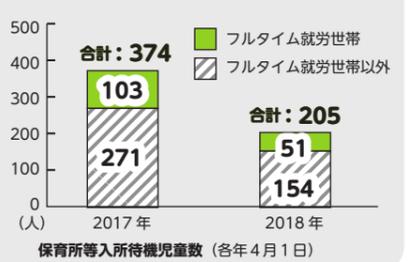


▲「自転車のカギかけ義務化」ポスター

足立区では平成30年1月1日から「自転車のカギかけ」が条例で義務化されました。

2020年4月までに 保育所等入所の待機児ゼロをめざします!

2018年4月に認可保育所を新たに10園開設するなど、保育定員を979人分拡大しました。その結果、2018年4月1日現在の待機児童数は205人。昨年と比べて169人減少しました。この内、フルタイム就労世帯の待機児童数は51人と、半減しています。しかし、保育を必要とする乳幼児数は毎年増加しています。引き続き施設整備などの取り組みを進め、2020年4月の待機児童解消をめざしていきます。
今後も保育施設の整備について、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



育英資金へのご寄附 ありがとうございます!
●第十一町会自治会連合会、青少年対策第十一地区委員会 様 ●石川 義夫 様 ●中村 政信 様
●桂馬 辰尚 様 ●有限会社 大西サッシ 代表取締役 大西 幸雄 様 ●匿名 2名様

information
自転車のカギかけ義務化 危機管理課 危機管理担当 ☎ 3880-5838
交通対策課 自転車係 ☎ 3880-5914

information
教育長コラム 学校支援課 庶務係 ☎ 3880-5961
教育委員会の活動 教育政策課 教育政策担当 ☎ 3880-5962
待機児ゼロについて 待機児ゼロ対策担当課 待機児ゼロ対策担当 ☎ 3880-5759
育英資金へのご寄附 学務課 助成係 ☎ 3880-5977

すざいね あだちの こどもたち

VOL. 21



第26回全国小学生バドミントン選手権大会 (男子ダブルス4年生以下の部) 優勝

左=梅島小学校(現在5年) **弓削** **綾登**さん
 右=栗原小学校(現在5年) **佐藤** **策太**さん



第12回彩の国杯全国中学校空手道選手権大会 (1年男子組手) 優勝

第四中学校(現在2年) **山中** **ゆうと** **優空**さん

「何度も辞めたいと思った」

緊張感漂う全国大会、劣勢な状況下、ラスト2秒が勝負を分けました。高校生との練習試合で経験した場面を思い出して闘ったそうです。この試合で勢いに乗り、見事優勝に輝いた山中さん。

これまでの道のりは、決して順調ではありませんでした。始めてからずっと勝つことができず、悔しくて、「何度も辞めたいと思った」と振り返ります。それでも、諦めなかったのは、純粋に空手と向き合うことが好きだったから。常に自分より強い選手に挑戦し続けました。

「夢は世界へ」

長年の努力が実り、今では間合いの取り方に優れ、どこからでもポイントが取れる選手として成長した山中さん。今年の5月に日本代表として出場したアジア大会では準優勝。決勝戦で自身の課題が見えたと、精進の毎日です。

最後に「いつかきっと世界大会で優勝する。それが私の夢です」と力強く語ってくれました。



「初の全国の舞台」

幼稚園の年長から共に続けてきたバドミントン。初の全国大会で決勝戦へ進出しました。しかし、後半は優勝を意識し過ぎ、ミスが続く場面も。「(佐藤さんが)このとき、励ましてくれたり、面白いことを言ったりしてくれたので、緊張がほぐれてプレーすることができた」と弓削さん。ペースをとり戻した二人はスマッシュを決め、ダブルスで初優勝を果たしました。

「強さの秘訣」

力強いスマッシュと粘り強いレシーブ。二人のスピードと気迫あふれるプレーに魅了されました。強さの秘訣を尋ねると、「最後まで諦めない!」(佐藤さん)、「根性は誰にも負けない!」(弓削さん)と話してくれました。そんな二人は練習を離れても、モノマネをして、笑い合う大の仲良し。確かな絆を持つ二人だからこそ、大舞台で力を発揮することができました。

今年の全国大会の開催地は東京。「もちろん優勝します!」と二人は気合い十分なガッツポーズを見せてくれました。



Information

学校支援課 庶務係 ☎ 3880-5961